

「熊本の学び」を自校化した産山型学習

共通実践事項

産山型学習

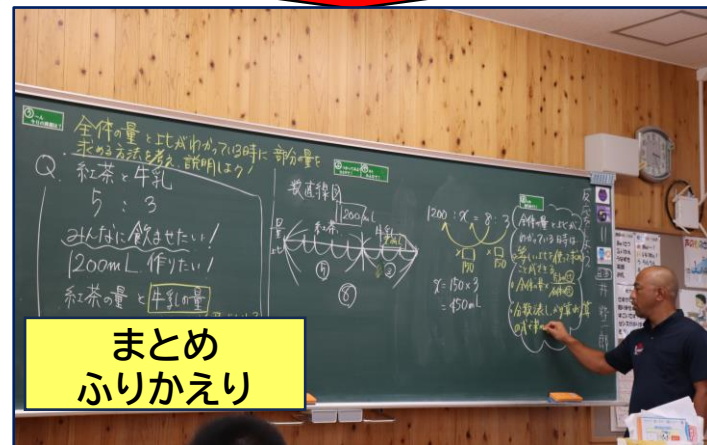
過程	児童生徒の視点から	授業者の視点から
う～ん 今日の 課題 は？	◎めあてや学習課題をつかむ。 めあてや学習課題を確かめて、やる気を出し、学習の見通しを立てる。 「なぜ」「おそらく」(疑問や予想)	◎めあての設定 - 本時のゴールの姿の明確化 ◎学習課題の工夫 - 切実感のある学習課題を立て、興味関心を高める。
ぶっ かって みよう ひとり で！	◎ひとり学びで課題解決に取り組み、自分の考えをもつ。 学習課題を自分ごととして捉え、根拠を明確にした自分の考えをもつ。 「やってみよう」(挑戦)	ひとり学び (個人思考) 学び合い (小集団・集団思考) 書く活動の充実 読解力の育成 指導と評価の一体化
やろう みんな で！	◎学び合って、学習課題を解決する。 お互いの考えを伝え合い、自己の考えを広げ、深め、学習課題を解決する。 「なるほど」「きっと」(納得感)	根拠を明確にする。 論理的思考を促す。
まとめ ふりか えろう！	◎まとめ、ふりかえり、次時へつなげる。 - わかったことを確認し、何を学んだのかを明確にする。 - 何ができるようになったのかを自分自身で振り返り、次時の学習につなげる。 「わかった」「できた」「もっとやってみよう」 (実感や達成感, 更なる意欲)	◎学びを実感できる主体的なまとめ - 子供の言葉でまとめる手立て - めあてや学習課題との整合を図る。 ◎学びを実感できる主体的な振り返り - ふりかえりの視点(あかうしどん)をもたせる。 - 次の学習への意欲をもたせる評価の工夫 深い学びの 発信活動へ

ペア
ワーク

ひとり学び

学び合い

まとめ
ふりかえり



令和6年度：学園生が「学びの主体」となる授業改善

①自力で情報を取り出す力をつける

②子ども自身が学びを確認できるまとめ

主体的に学習に取り組み、
考えを深める子供

説明文 ひとり読み
この時間に学習する文章に対して、
全力をあげて読みましょう。

★注目★

- ・主語
- ・つながり言葉（接続後）
- ・こそあど言葉（指示語）
- ・〜ということ、〜こと
- ・くりかえし

★ノートに書き出そう。

わ 分かったこと（初めて）
コッ 筆者の伝え方・工夫
？ 疑問
お 読み手の思ったこと
←→ 前の段落との関係
次の段落の予想

例：国語「学び方カード」活用して



例：国語「中心となる言葉・文」を使って

独自の教育課程編成

学年 教科等	1ステージ				2ステージ			3ステージ	
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年
英会話科	20	20	20	20	35	35	35	35	35
外国語活動 英語科			35	35	70	70	140	140	140
うぶやま学	34	35	45	45	45	45	45	45	45
チャレンジ学習			25	25	25	25	25	25	25



英語力を発揮しながら国際理解を深める英会話科



学びとくらし、地域をつなぐ教育活動(特色ある教育課程編成)



体験活動を重視したうぶやま学



うぶやま学の集大成となる9年生子ども議会



各種検定へチャレンジ：漢検・数検・英検等





広げ隊活動：ヒゴタイ交流／海山交流

暮らし隊活動：ヘルパー活動／農業・職場体験



学びと暮らし、地域をつなぐ教育活動(コミュニティ・スクールの取組)



伝え隊活動：学園消防／ヒゴタイ太鼓／ソーラン節等

学び隊活動：そろばん／読み聞かせ／授業支援等

